

大学が受け皿となった総合型地域スポーツクラブ
 大学が変わる、
 地域が変わる、
 総合型地域スポーツクラブ



学生が中心となってプログラムが進んでいく



堺 賢治
 愛媛大学総合型
 地域スポーツクラブ理事長
 (愛媛大学教育学部教授)

大学で総合型地域スポーツクラブを
 立ち上げる

愛媛県に平成13年に広域スポーツセンターができ、企画運営委員会の会長になったときから人生が変わりました。当初は全国各地の総合型地域スポーツクラブ(以下、総合型クラブ)の視察、クラブマネージャー講習会の講師、県内の設立されるクラブ(久万スピリットクラブ、かみうらスポーツクラブ、総合型潮見スポーツクラブなど)のサポートをしてきました。それが、平成16年4月、愛媛県体育協会から愛媛大学で総合型クラブを立ち上げないかという話があり、2年間の準備期間の後、設立することになりました。

オンラインワンの
 スポーツクラブを目指して

立ち上げに当たったっての問題点は、モデルがなかったことです。日本各地の地域

には総合型クラブは数多くあるのですが、国立大学法人が取り組むのは初めてのことでした。また、

当時の愛媛大学の体育施設は貧弱であり、この施設で会費が取れるのかという心配もありました。

最初にしたことは、理念づくりでした。愛媛大学総合型クラブには4つの理念があります。①子どもの健全育成を図る。②成人の健康・体力づくりを図る。③チャンピオンシップスポーツをサポートする。④愛媛県内の総合型クラブをサポートする。そして、10年間のグラントデザイン(10年間で、会員10000人、予算15000万円のクラブにする)を作りました。

設立にあたって参考になったのは、えひめ地域づくり研究会の活動でした。15年前から、地域スポーツによる村おこし・町おこしの研究をされていて、研究会の会員として色々な講演会やシンポジウムに参加し、「まちづくりは人づく



高く上げたボールを上手にキャッチ!

「学習とスポーツ教室」の学習の様子



す。これは教育学部だ

意識したのが「学習とスポーツ教室」で「オンラインワン」を開設しています。ホノルルマラソンランニング、学習とスポーツを

また、地域の住民を対象に、8つの教室（ウォーキング、テニス、バレーボール&学習塾、サッカー、ダンス、成人スポーツ、ホノルルマラソンランニング、学習とスポーツ）を開設しています。「オンラインワン」を意識したのが「学習とスポーツ教室」です。これは教育学部だ

学生が主体的に運営する

り「オンラインワン」などの言葉が頭に残っていました。そして、「クラブづくりは大学おこし」という考え方で行動したので

から出来たことです。土曜日の午前中、学習をし、色々なスポーツをするわけです。今の子ども達は塾で勉強しますが、自ら進んで勉強をする学習習慣があまりついていません。学習とスポーツをする習慣をつけることが教室の目的です。さらに、愛媛県は2017年に国体を開催します。理念の一つである「チャンピオンシップスポーツのサポート」として、愛媛県から「小学校スポーツ活動派遣事業」の委託を受け、平成19年度、愛媛大学総合型クラブの学生を県内の小学校に派遣しています。また、平成18年度には、西予市から委託を受け、国体や総合型クラブづくりに役立つ「西予市スポーツ振興計画」スポーツ立市せいよ2017」を作成しました。

全国の大学のモデルに

「クラブが出来れば、教育学部が変わり、愛媛大学が変わり、松山市が変わり、愛媛県が変わり、日本が変わる」という気持ちでクラブを運営しています。将来的には教育学部の教員や880人の学生を巻き込もうと思っています。土曜日、日曜日、教室は空



企画会議 クラブ運営をする学生スタッフ

いています。これを何とか活用したいと思っています。愛媛大学総合型クラブが成功すれば、モデルとして全国の教育学部に広がると思います。詳しいことは、ホームページ「愛媛大学総合型地域スポーツクラブ」を参考にしてください。

■愛媛大学総合型地域スポーツクラブ <http://www.ed.ehime-u.ac.jp/~ai-spo/>